

真昼のネオンサイン

紹介

- 使用ルールブック: inSANE 1巻
- タイプ: 1人 4サイクル
- 内容: バーテンダーで偽装したキラーNPCと裏道ドクターPCの話
- 注意: 殺人、人体実験
- シナリオ略称:「ヒルネオン」

概要

生き残ることが目的であり使命である距離、裏道。そこにはたくさんの人たちが「生きていって」います。それはPCとNPCも同じ。疲れた体でPCは今日も真昼にネオンサインがつけたNPCのバーに向かいます。そしてそこである「事件」を会うようになります。

利用案内

- ルールブックなしでマスターリング禁止
- マスターリングコミッション禁止 | セッションカード制作コミッション許可 | その外のすべての金銭関連行為は創作者 나인독(@nine9trpg)にお問い合わせしてください
- セッションカード制作の時から創作者のニックネームである나인독(@nine9trpg)のご記入をお願いいたします。
- 改変自由 | 改変したシナリオの再配布禁止
- 改変しないように特記した部分は変更しないでください。
- 記述しなかった事項は必ず創作者 나인독(@nine9trpg)とご相談をお受けることをお願いいたします。
- シナリオ全体利用案内もぜひご確認ください

著作権表記

- この作品は『inSANE』の非公式二次著作物であり、原作者と翻訳者の権利を侵害する意図はありません。
- 本二次著作物内で創作者 나인독(@nine9trpg)が直接書いた内容に関する著作権は나인독(@nine9trpg)にあります。
- 本二次著作物内の翻訳著作権は베르(@libera_53s)にあります。

PC

PC 公開	PC 秘密
あなたは裏道で「ドクター」と呼ばれている不法治療者。主に不法滞在者や不法的な仕事でけがをした人たちを治療する人である。 この危ない裏道で自分の身を守るのはいつも手ごわい。 <鎮痛薬>を1個追加で持って始まる。 あなたの【使命】は今日もこの距離で生き残ることだ。	ショック:なし あ、あなたはどのようにこんな目になったのか。 あなたは本来ひととき世を動かすかもしれない著名な医者(科目自由)だったのに。 今は人を救う職業の従事者と言えるだろうか。 ヒポクラテスの誓いの意味すらぼけてしまうのではないか。 今日も苦い気持ちを隠せないが仕方ない。

生き残ること、それが私の目標だから。

次からはシナリオのネタバレが存在します。
閲覧ご注意ください。

ハウスルール

- 本シナリオでは全ての戦闘で勝利者になっても戦果はありません。
- 本シナリオの全ての戦闘でラウンド制限はありません。優勝者が出るまで続けます。

狂気カード

マスターが適当なもので4枚選んでください。

シーン表

(自体シーン表を使います。)

1. NPCが作るカクテルはいつも美味しい。バーテンダーが本業だったら良かったのに、と生意気な考えもした。
2. カクテルグラス中の液体が揺れる。
3. キーッとバースツールひかれる音が不快だ。
4. 途中、トイレに行って変なものを発見した。<お守り> 1枚獲得
5. かすかなほこりの匂いでいっぱいバーの中。いくら掃除をしても消えないものはあるもの。

6. 頭がふらふらする気分だ。酔ったかな。

ハンドアウト

公開	秘密
ハンドアウト《 NPC 》 裏道の古ぼけた酒屋のバーテンダー。 主人は見たこともないし、いつもバーテンダーが席を守っていた。 主人だけではなくここには訪問する客もほとんどいない。客だとしても客はPC ひとり。 そしてPCはもはや知っている。彼がバーテンダーで偽装したキラーであることを。 真昼が過ぎて日が暮れると命を奪うものになることを。 あなたの【使命】はPCにおいしいカクテルを提供すること。	ハンドアウト《 NPC 》 ショック: PC そのグラスには毒が入ってる！...とは言えないが、実際に毒は入っていない。 とにかくNPCは PCを殺す気だ。何でだろう。当然NPCのターゲットがPCだからだ。それだけだ。 《死》で恐怖判定 あなたの【本当の使命】は PCが死ぬこと。 ハンドアウト《 手紙 》公開
ハンドアウト《 手紙 》 NPCが立っているカウンターの隅っこにおいてある手紙ひとつ。 封筒に入っているがなんだかちょっと古くてしわになっている。 もらってから経ったのか？	ハンドアウト《 手紙 》 ショック: PC これが一体何ヶ月目だ？ これ以上持ち越すのは許せない。 今回もPCを殺すのに失敗したら、 —いや、お前は殺そうともしなかった！分からないと思ったか？— 殺さないとお前の命をうばう。 最後の警告だ。 ...受信人はNPCだった。 NPCは何ヶ月もPCを殺す依頼を持ち越したのかな？
ハンドアウト《 ケータイ 》 狂ってしまったように見える白いガウン が逃げながら落ちたケータイ。 ほかのものは全部ロックがかかっていたが、メッセージの内容だけは確認できた。	ハンドアウト《 ケータイ 》 ショック: なし 驚くことにメッセージの内容によると、

	PCが以前、裏道で命を「生かした」人がある組織の幹部だったらしい。 これに憤怒した相手の組織でNPCに殺人依頼をしたというのに... これを白ガウンが持ったことを考えると、NPCの内貞までしたらしい。 まじめに、徹底にPCを生け捕るつもりらしい。
ハンドアウト《 白いガウン 》 いきなりバーに入り込んだ白いガウンを着た見知らぬ人。 むちゃにPCを「生け捕って」いくつという。 姿は青白いけど凶器を持っていた。結構危ないように見える。	ハンドアウト《 白いガウン 》 ショック: なし 白いガウンの人はPCを生け捕って自分の研究所人力で連れていくつもりだ。 「人体実験」の助っ人になるのに最適の人材とかなんとか。 連れて行っていうことを聞かなかったり成果が足りないと迷いもなく拷問もするつもりらしい。 そしてそれに邪魔になるPC側の人、NPCを消す計画だ。 《脅迫》で恐怖判定

スクリプト

導入フェイズ

どしんどしんと、あなたの足音は結構重いです。今日一日も大変でした。いや、生き残りました。あなたの夜は人々が昼を迎えるとき誘います。裏道はそうゆうもの。真昼に唯一に開いている、あなたがよく知っているバーが一つ。あなたはそこに向かいます。真昼にも光るネオンサインを付けるところ。中に入ると慣れた顔が見えます。このバーで結ばれた縁ですが、そうやって知り合ってからかなり経ちました。このバーのバーテンダー、NPC。彼があなたと目が合いました。

(適当なRP時間を持ってください。)

あなたの前に華やかなネオンサインみたいなカクテル一杯が置かれます。

ハンドアウト《 NPC 》を公開します。

マスターシーン

(1サイクル終了後)

その時です。ボタン！とバーのドアをけたてて入って来る誰か。(=白いガウン) 彼は白いガウンを着て凶器を持ったままNPCに凶器を向けます。そしてPCに叫びます。「君を生け捕りに来た！」

NPCとPC、そして白いガウンが戦闘を始めます。

(戦闘終了後、結果に関係なく)

白いガウンは自分においた状況が不利だと思ったのかあたふたと逃げました。その時何かを落として行ったようです。

ハンドアウト《 ケータイ 》を公開します。

クライマックスフェイズ

その瞬間、またバーに招かざる者が襲ってきました。また凶器を持ってきたさっきの「白いガウン」です。疲れてもいないようです。白いガウンは今度こそPCであるあなたを生け捕りにすると脅します。そして、あなたに飛びつきます！

NPCとPC、そして白いガウンが戦闘を始めます。ここで重要なのはNPCがPCに持った「感情」の種類です。

- NPCがPCにプラス感情を持っていればNPCは戦闘中白いガウンを攻撃します。
- NPCがPCにマイナス感情を持っていればNPCは戦闘中PCを攻撃します。
- NPCがPCに何の感情も持っていなければ白いガウンとPC中ランダムで攻撃します。

NPC データ

- NPC(キラー): 1巻 247p 殺人鬼データ
- 白いガウン: 1巻 248p 狂った科学者データ

エンディング

別個のエンディングはありません。各卓の状況に合わせ自由にしてください。